

平成28年度
家庭等における青少年の携帯電話・スマートフォン
等の利用等に関する調査報告書
(概要版)

東京都青少年・治安対策本部

1. 調査概要	
■ 調査の目的	2
■ 調査対象者	2
■ 調査方法	2
2. 携帯電話・スマートフォンの利用について	
■ 携帯電話・スマートフォンのタイプ	3
3. 携帯電話・スマートフォンの所持、利用状況について	
■ スマートフォンを持たせた時期	4
■ 携帯電話を持たせた理由	4
■ スマートフォンを持たせた理由	5
■ 携帯電話・スマートフォンの1日の使用時間	5
■ 睡眠不足等、悪影響の有無と内容	6
4. 家庭におけるルール作りについて	
■ 家庭内でのルール	7
■ どのようなルールか	7
■ ルールを守れなかった時のルール	8
■ ルールは守られているか	8
■ ルールが守られていない理由	9
■ ルールを作っていない理由	9
5. 友達の間でのルールについて	
■ 友達の間でのルール	10
■ 友達の間でのルールの必要性	10
6. フィルタリングサービスについて	
■ フィルタリングサービスに関する説明及び説明書の交付	11
■ フィルタリングサービスへの加入	12
■ フィルタリングサービスに加入していない理由	13
■ フィルタリングに加入していない（又は解除した）時期	13
7. 保護者の携帯電話・スマートフォン等に関する意識について	
■ スマートフォンを持たせるにあたり不安なこと	14
■ 保護者として必要な課題	14
■ 東京都や学校で必要な対策	15

1 調査概要

■ 調査の目的

東京都内の小・中学生及び高校生の携帯電話等（スマートフォンを含めた携帯電話・PHSをいう）の所有率を調査するとともに、小・中学生及び高校生の子供に携帯電話等を持たせている保護者に対して、子供が利用する携帯電話等のフィルタリングへの加入状況や意識等を調査し、フィルタリングの重要性と必要性の啓発及び青少年健全育成条例における保護者の責務の更なる周知・徹底を図るとともに、今後の施策の参考とする。

■ 調査対象者

①携帯電話・スマートフォンの所有率調査

都内在住で、小学生（1～6年生）、中学生及び高校生の子供に携帯電話等を持たせている保護者 2,000 名

②フィルタリング加入等実態調査

都内在住で、小学生（4～6年生）、中学生及び高校生の子供に携帯電話等を持たせている保護者 1,500 名

【子供の属性】

①携帯電話・スマートフォンの所有率調査

	小学生						中学生			高校生			合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
男子	81	72	74	76	86	90	75	93	72	85	94	99	997
女子	79	83	84	76	83	77	70	90	86	84	90	101	1003
合計	160	155	158	152	169	167	145	183	158	169	184	200	2000

②フィルタリング加入等実態調査

	小学生			中学生			高校生			合計
	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
男子	78	79	75	65	89	90	91	79	99	745
女子	68	95	105	85	90	81	73	78	80	755
合計	146	174	180	150	179	171	164	157	179	1500

■ 調査方法

- 1 調査期間：平成29年1月27日（金）から同年2月1日（水）まで
- 2 調査方法：インターネットパネルを使用してのネット調査アンケート

※ 調査会社提携先の登録会員に対して、Web画面上のアンケートリサーチを実施。

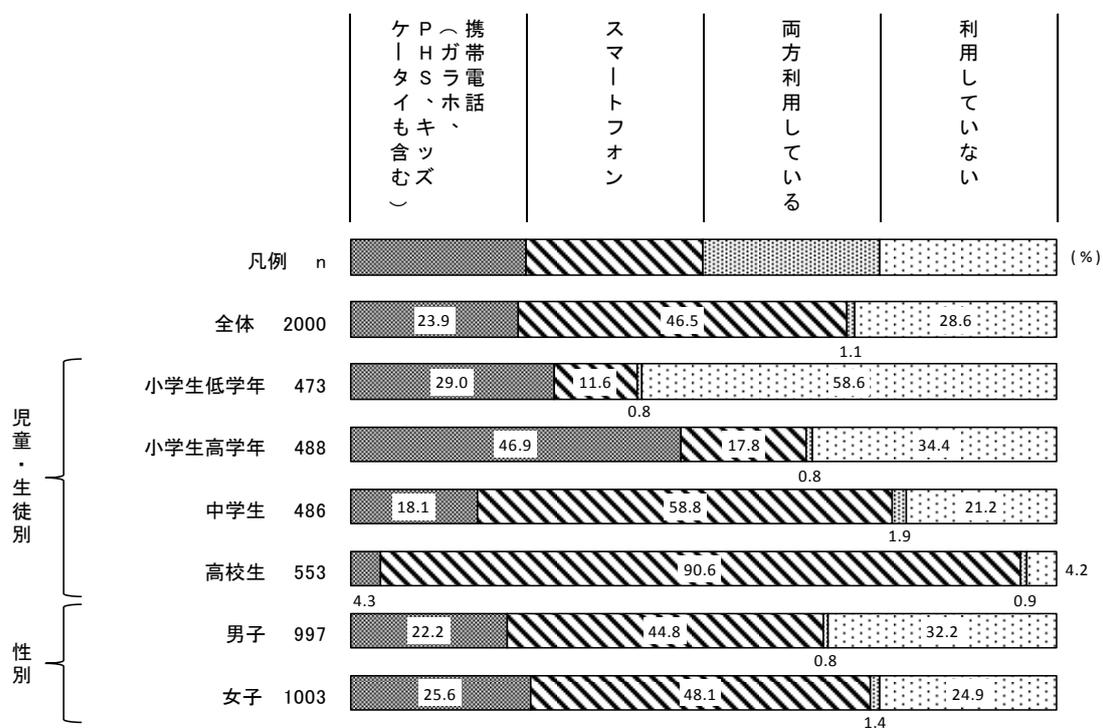
2 携帯電話・スマートフォンの利用について

《携帯電話・スマートフォンのタイプ》

- 全体では、スマートフォンの利用が47.6%と半数近くを占めている。
- 児童・生徒別に見ると、スマートフォンの利用は小学生低学年で12.5%、小学生高学年で18.6%、中学生で60.7%、高校生で91.5%と、学年が上がるにつれ割合が大きくなっている。

(スマートフォン利用 = 「スマートフォン」 + 「両方利用している」)

あなたのお子さんは、下記の機器を利用していますか。(1つに回答)

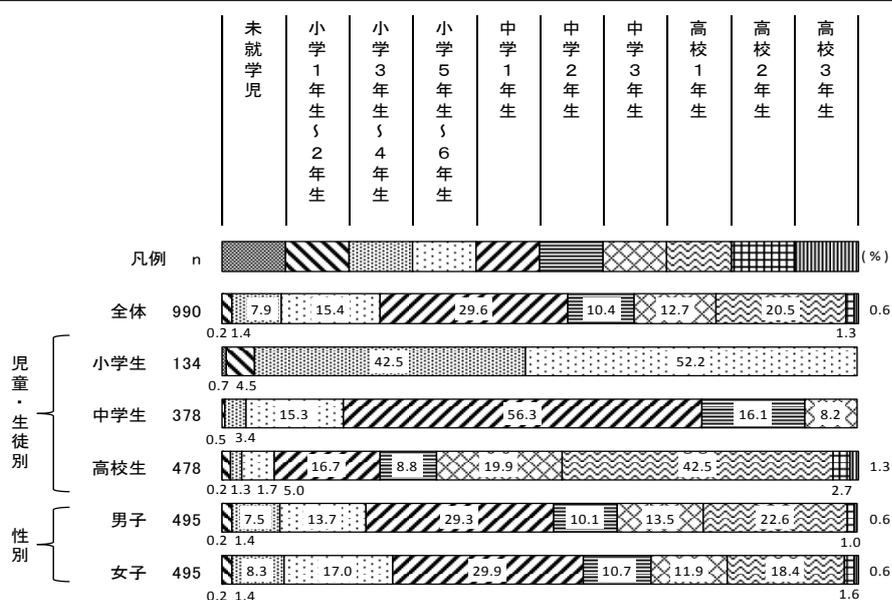


3 携帯電話・スマートフォンの所持、利用状況について

《スマートフォンを持たせた時期》

- 「中学1年生」が29.6%と最も多く、「高校1年生」が20.5%と続く。
- 《未就学児、小学生》で持たせ始めている割合は24.9%、《中学生》が52.7%である。

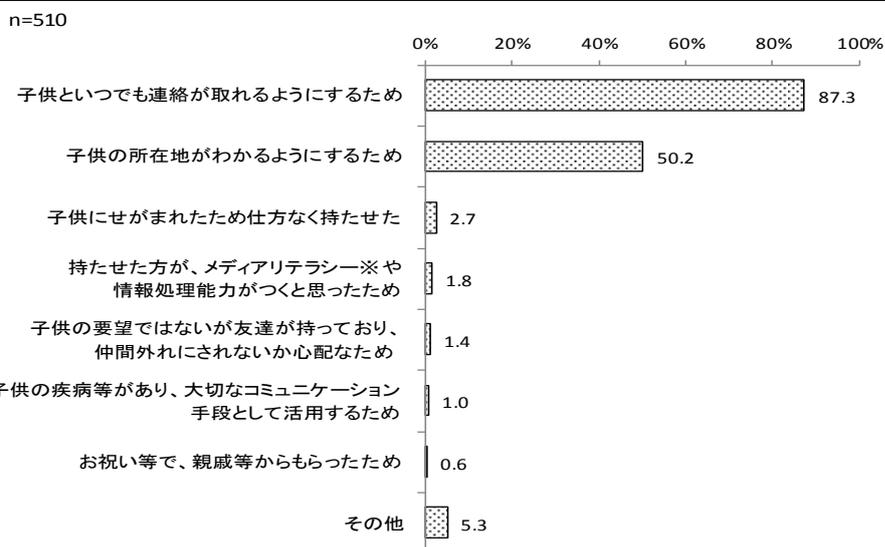
お子さんにスマートフォンを持たせた時期はいつですか。(1つに回答)



《携帯電話を持たせた理由》

- 「子供いつでも連絡が取れるようにするため」が87.3%と最も多く、次いで「子供の所在地がわかるようにするため」が50.2%となっている。

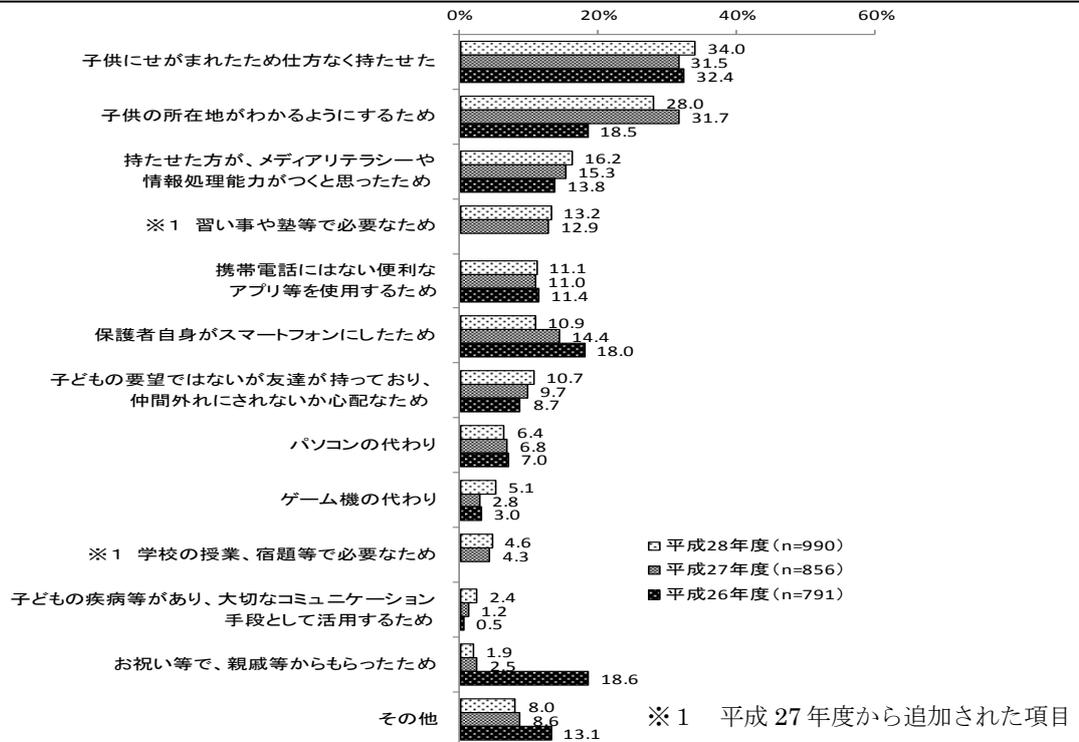
お子さんに携帯電話を持たせた理由(きっかけ)は何ですか。(いくつでも)



《スマートフォンを持たせた理由》

■ 「子供にせがまれたため仕方なく持たせた」が34.0%と最も多く、昨年最も多かった「子供の所在地がわかるようにするため」の28.0%を上回っている。

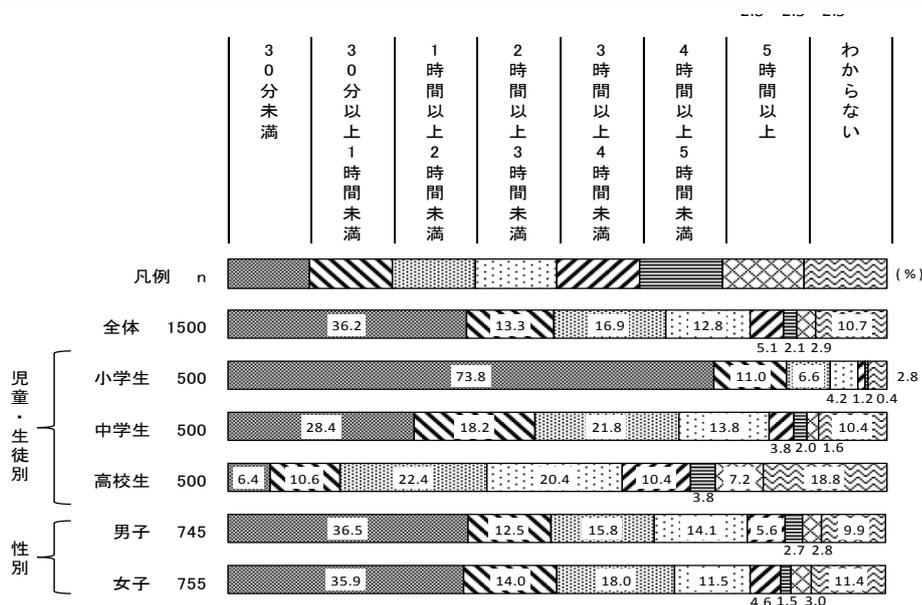
お子さんにスマートフォンを持たせた理由（きっかけ）は何ですか。（いくつでも）



《携帯電話・スマートフォンの1日の使用時間》

■ 児童・生徒別で見ると、『1時間未満』は小学生で84.8%と最も多く、中学生が46.6%、高校生が17.0%となっている。

お子さんは、携帯電話・スマートフォンを1日にどのくらい使用していますか。（1つに回答） ※ 両方お持ちの方は、スマートフォンの使用について回答してください。

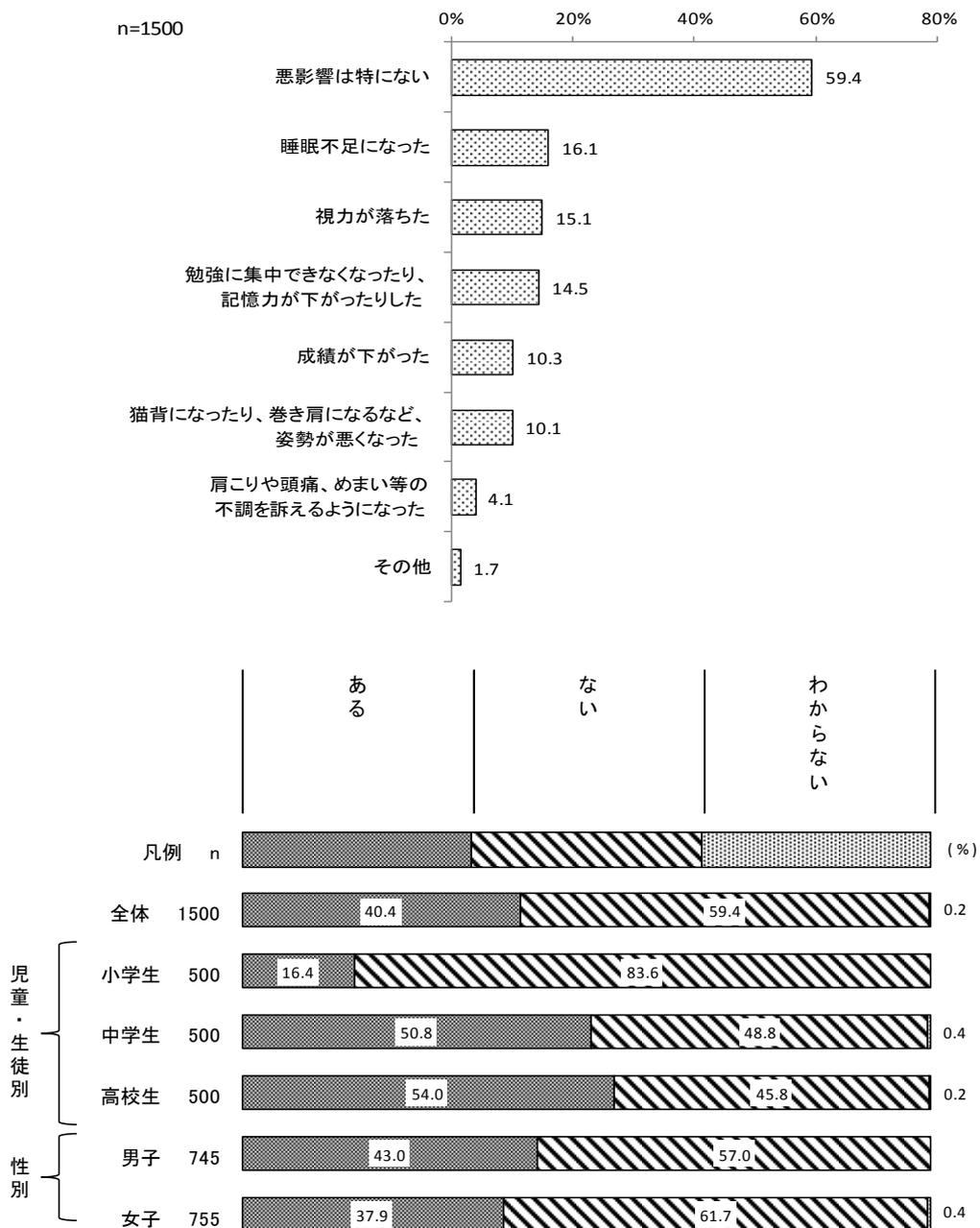


《睡眠不足等、悪影響の有無と内容》

■ 「睡眠不足になった」が16.1%、「視力が落ちた」が15.1%、「勉強に集中できなくなったり、記憶力が下がったりした」が14.5%であった。

悪影響の有無について、児童・生徒別では、何らかの悪影響が「ある」と回答した割合は小学生が16.4%、中学生が50.8%、高校生が54.0%と年齢が上がるにつれ高くなる傾向にある。

お子さんが、携帯電話・スマートフォンにのめり込んで、勉強に集中できなかったり、睡眠不足になったことがありますか。(1つに回答)

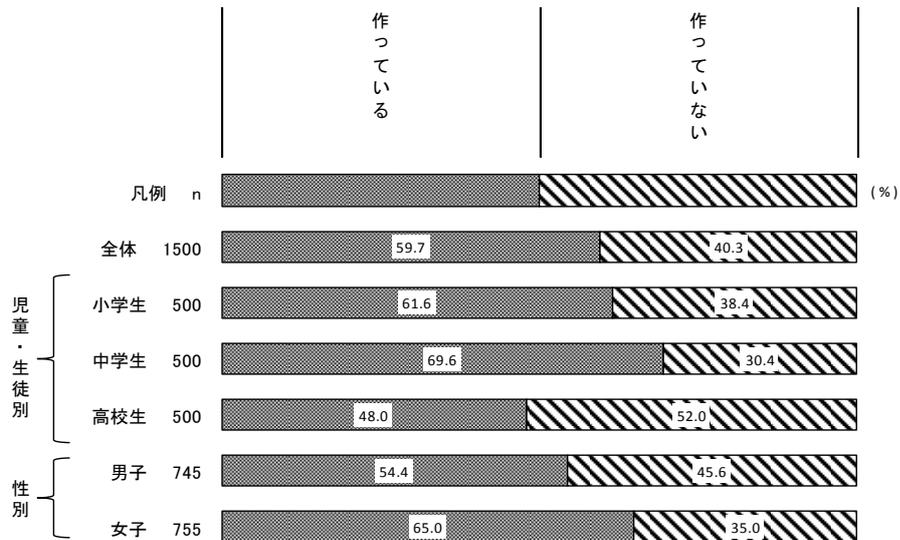


4 家庭におけるルール作りについて

《家庭内でのルール》

- 児童・生徒別で見ると、「作っている」は中学生が69.6%と最も多くなっている。一方で、「作っていない」は高校生が52.0%と最も多くなっている。

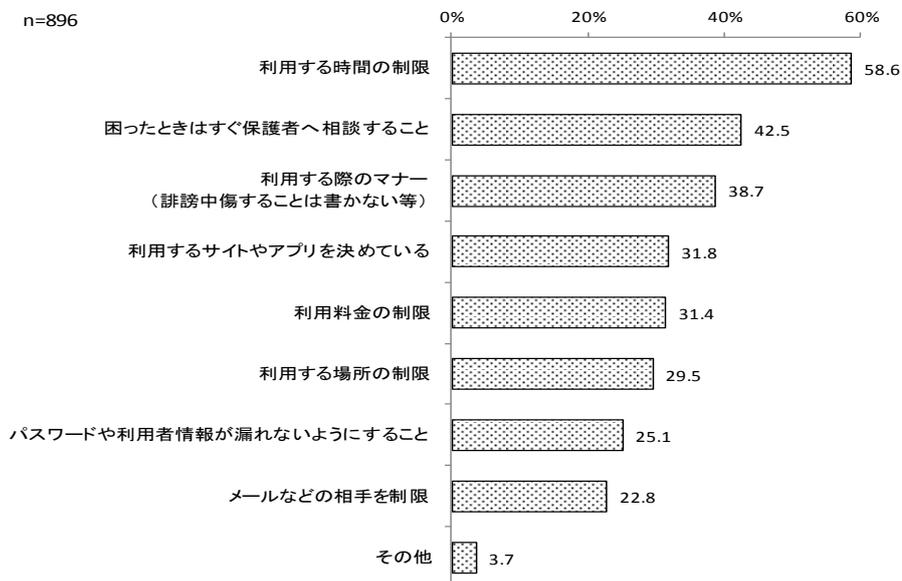
お子さんが携帯電話・スマートフォンを使うことについて、家庭内でルールを作っていますか。(1つに回答)



《どのようなルールか》

- 「利用する時間の制限」が58.6%と最も多く、次いで「困ったときはすぐ保護者へ相談すること」が42.5%、「利用する際のマナー」が38.7%と続く。

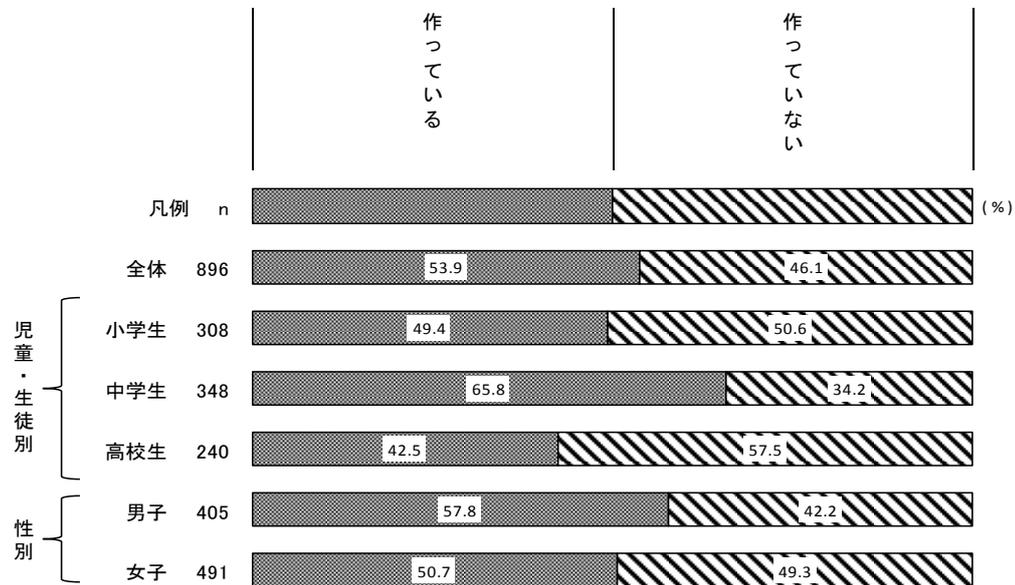
家庭内でどのようなルールを作っていますか。(いくつでも)



《ルールを守れなかった時のルール》

- 児童・生徒別で見ると、「作っている」が中学生が65.8%となっており、高校生が42.5%、小学生が49.4%であるのに比べ多くなっている。

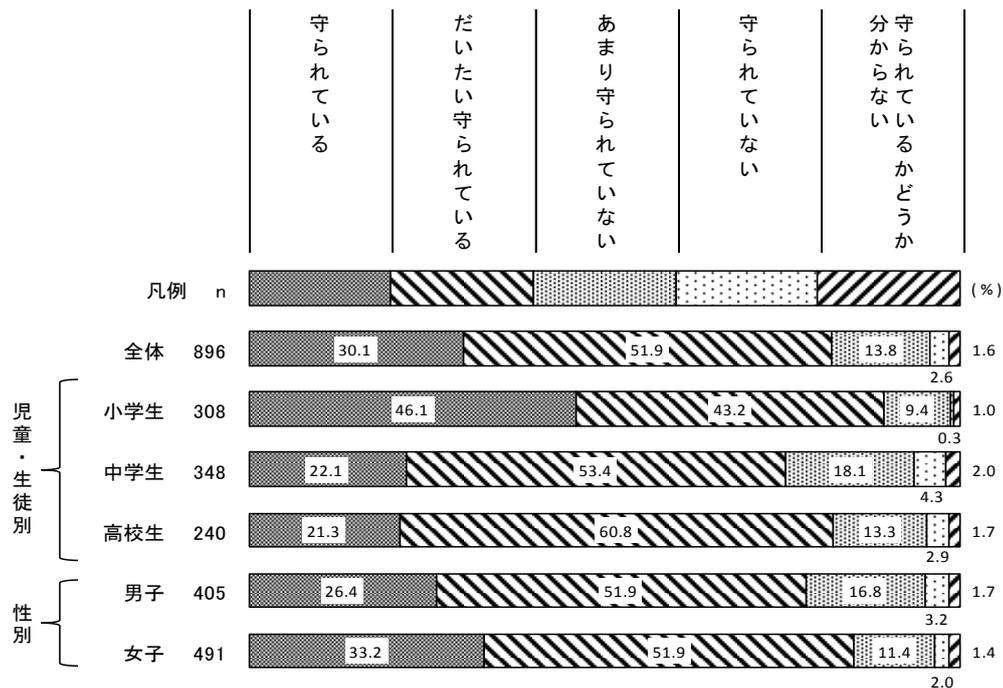
お子さんがルールを守れなかった場合のルールを作っていますか。(1つに回答)



《ルールは守られているか》

- 「守られている」が30.1%、「だいたい守られている」が51.9%と合わせて『守られている』が82.0%となっている。

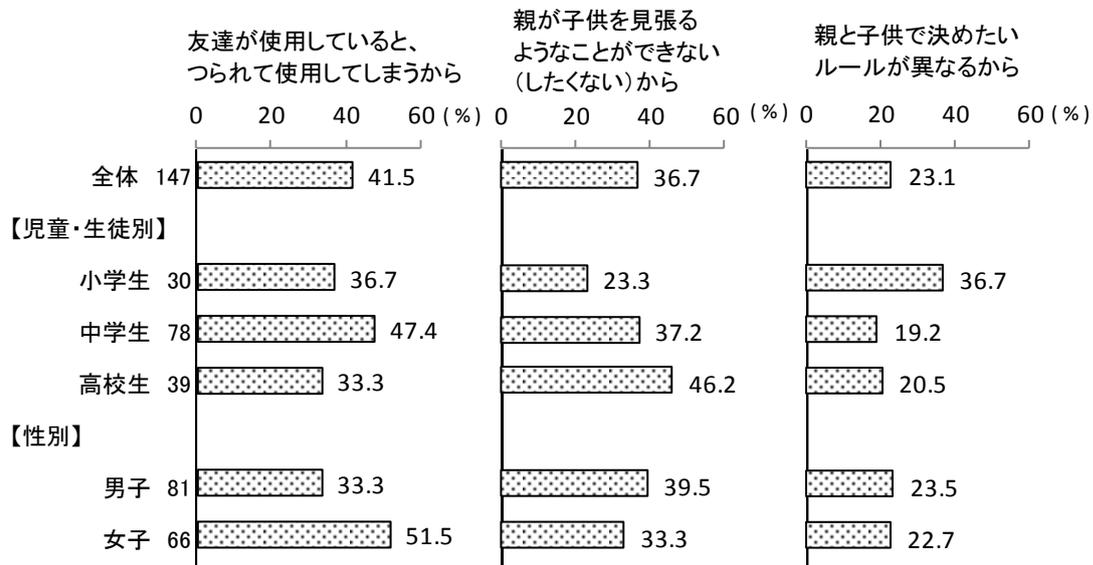
家庭内で作ったルールは守られていますか。(1つに回答)



《ルールが守られていない理由》

- 「友達が使用していると、つられて使用してしまうから」が41.5%と最も多く、次いで「親が子供を見張るようなことができない（したくない）から」が36.7%、「親と子供で決めたいルールが異なるから」が23.1%と続く。

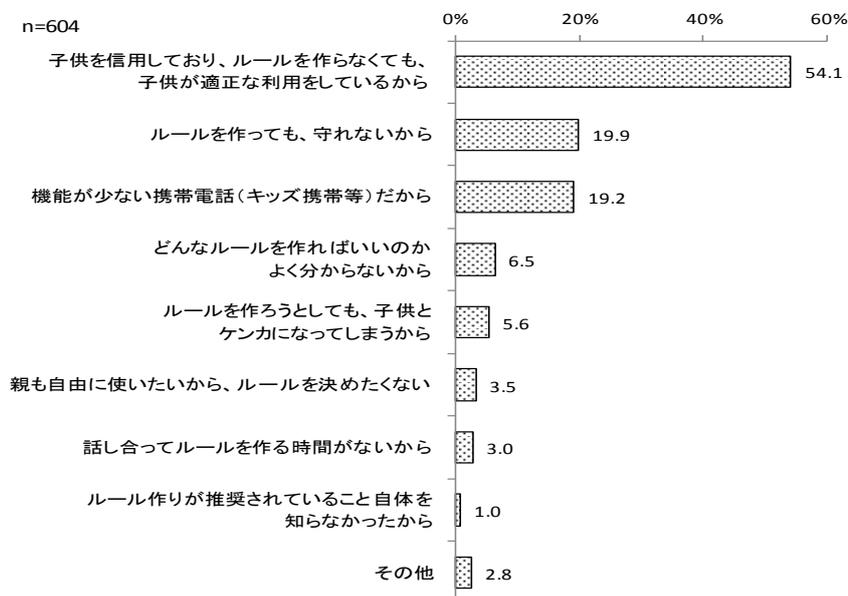
ルールが守られていない主な理由は何だと思いますか。（いくつでも）



《ルールを作っていない理由》

- 「子供を信用しており、ルールを作らなくても、子供が適正な利用をしているから」が54.1%と最も多く、次いで「ルールを作っても、守れないから」が19.9%、「機能が少ない携帯電話（キッズ携帯等）だから」が19.2%となっている。

お子さん自身が、友達の間でルールを作っていますか。（1つに回答）

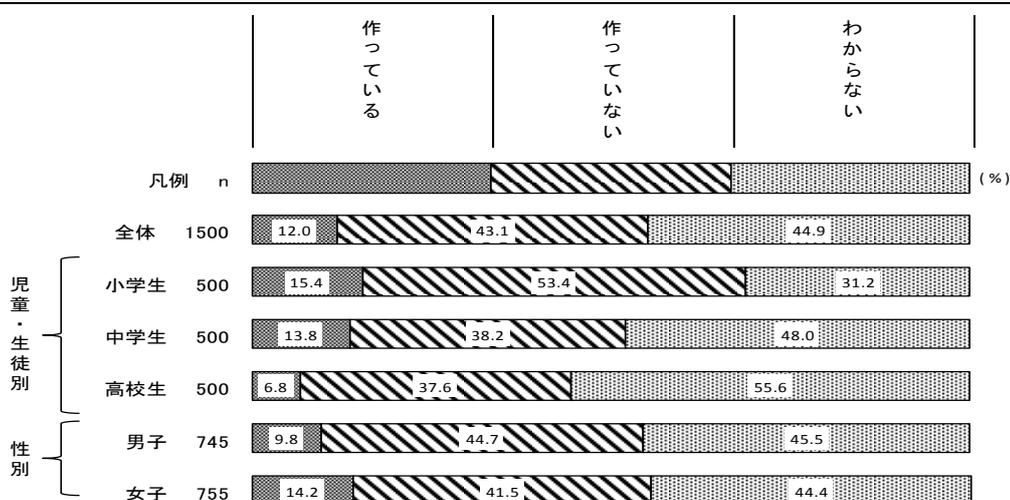


5 友達の間でのルールについて

《友達の間でのルール》

- 児童・生徒別で見ると、「作っている」は小学生が 15.4%、中学生が 13.8%、高校生が 6.8%と、おおむね年齢が上がるにしたがって低くなる傾向がみられる。
- また「わからない」は、小学生が 31.2%、中学生が 48.0%、高校生が 55.6%と、年齢が上がるにしたがって保護者の把握が難しくなる傾向がみられる。

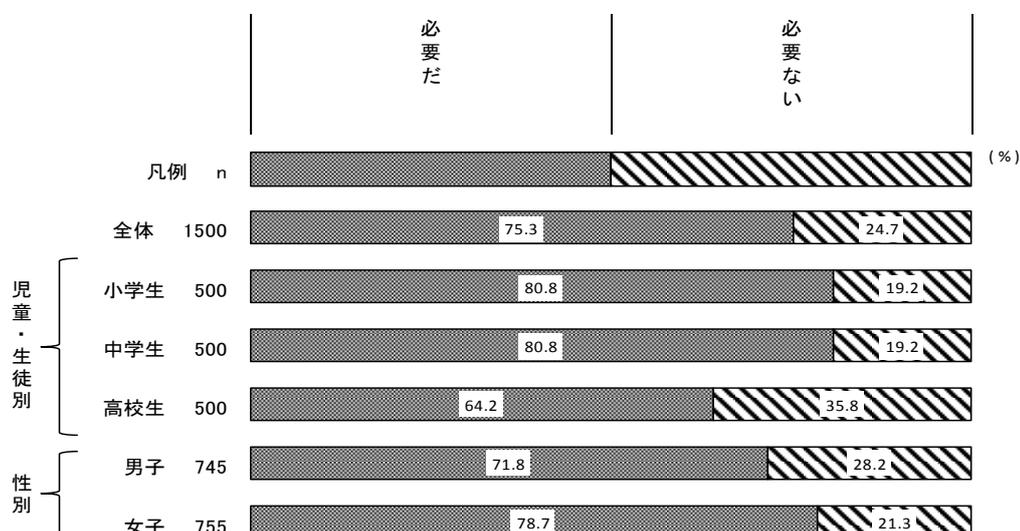
お子さん自身が、友達の間でルールを作っていますか。(1つに回答)



《友達の間でのルールの必要性》

- 「必要だ」が 75.3%と、「必要ない」の 24.7%を大きく上回っている。
- 児童・生徒別で見ると、「必要だ」は高校生が 64.2%と、小学生と中学生の 80.8%に比べ割合が低くなっている。

友達の間で作るルールは必要だと思いますか。(一つに回答)

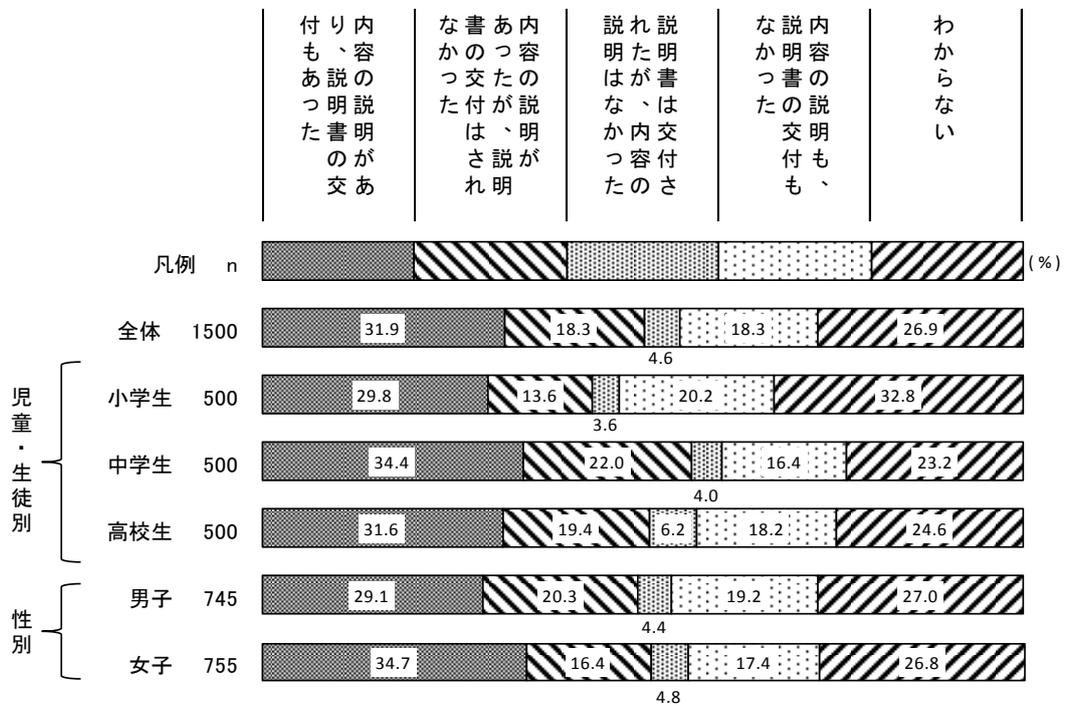


6 フィルタリングサービスについて

《フィルタリングサービスに関する説明及び説明書の交付》

- 「内容の説明があり、説明書の交付もあった」が31.9%と最も多くなっており、次いで「わからない」が26.9%、「内容の説明があったが、説明書の交付はされなかった」と「内容の説明も、説明書の交付もなかった」が18.3%となっている。

青少年が利用する携帯電話・スマートフォンについては、有害サイトへのアクセス等を防ぐ「フィルタリングサービス」に加入する必要があります。
 お子さんが利用している携帯電話・スマートフォンの契約・購入の際、お店からフィルタリングサービスに関する説明及び説明書の交付を受けましたか。(1つに回答)

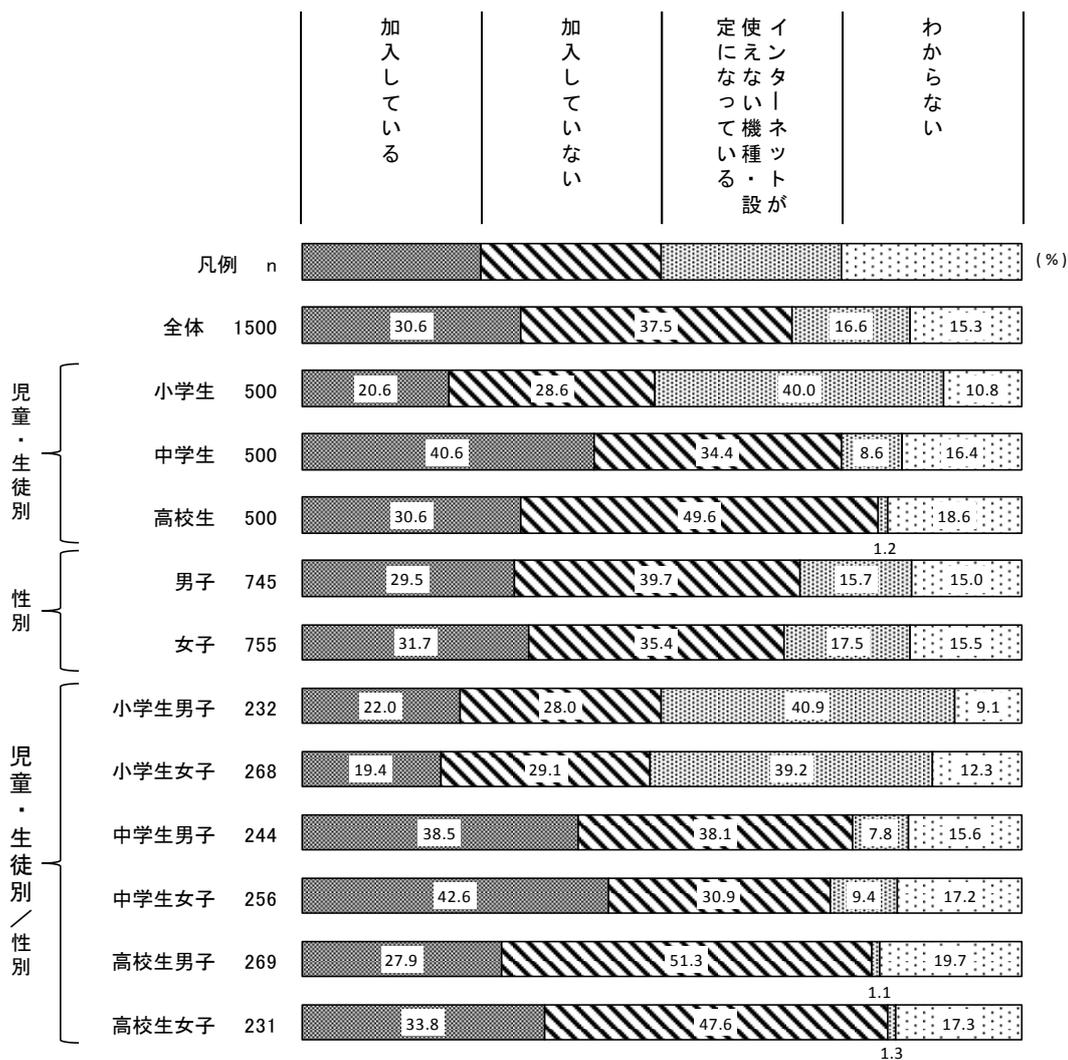


《フィルタリングサービスへの加入》

■ 児童・生徒別にみると、「加入していない」は小学生28.6%、中学生34.4%、高校生49.6%と年齢が上がるにしたがって「加入していない」傾向がみられる。

「加入していない」又は「わからない」と回答した割合は、小学生39.4%、中学生50.8%、高校生68.2%であった。

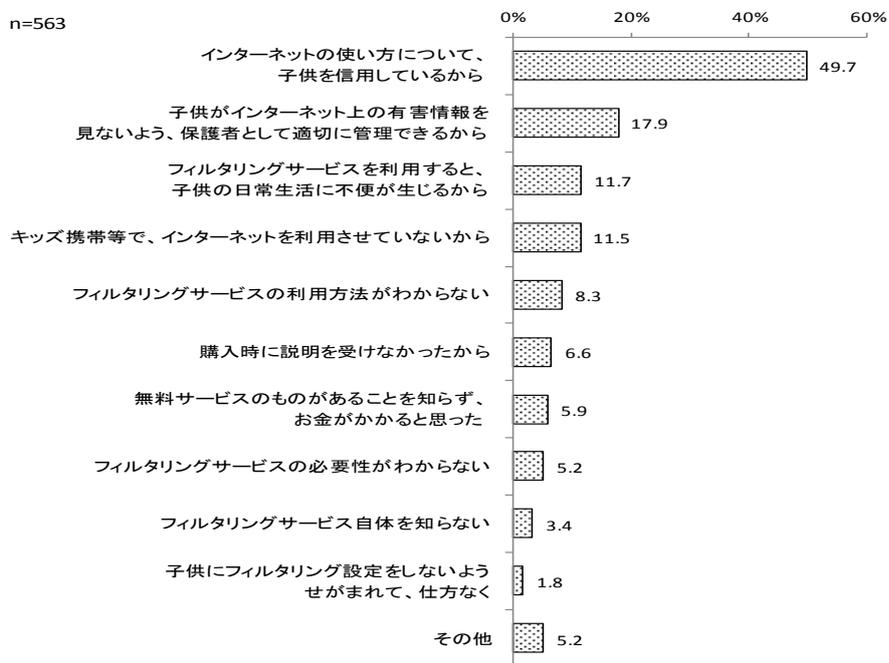
お子さんが利用している携帯電話・スマートフォンは、現在フィルタリングサービスに加入していますか。(1つに回答)



《フィルタリングサービスに加入していない理由》

- 「インターネットの使い方について、子供を信用しているから」が49.7%と最も多い。

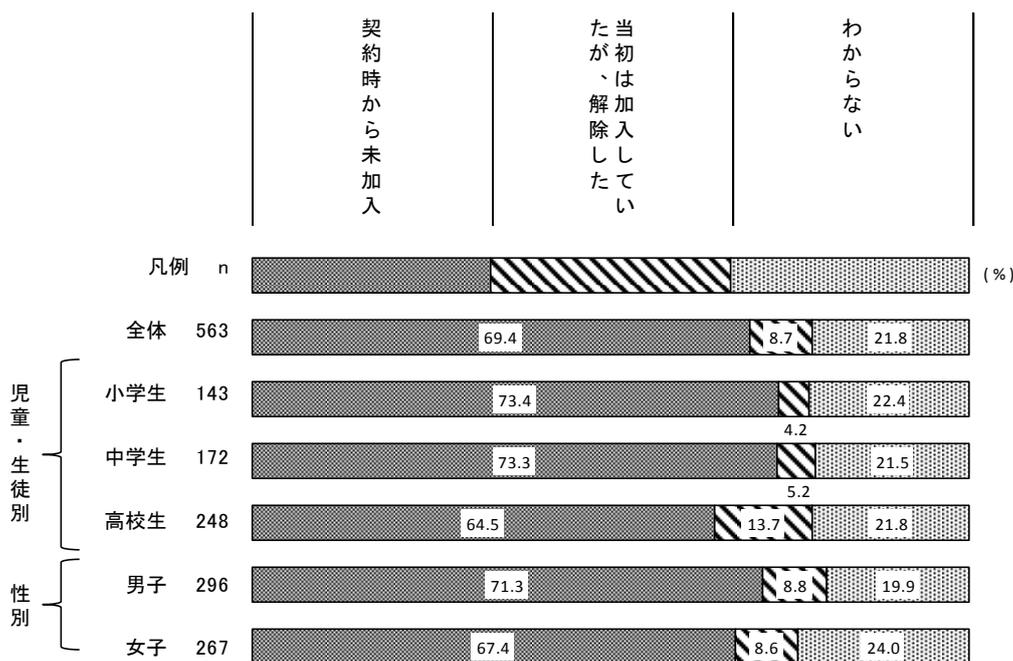
フィルタリングサービスに加入していない主な理由は何ですか。(いくつでも)



《フィルタリングに加入していない（又は解除した）時期》

- フィルタリングに加入していない（又は解除した）時期については、「契約時から未加入」が69.4%と最も多くなっている。

フィルタリングに加入していない（又は解除した）のは、いつからですか。(1つに回答)

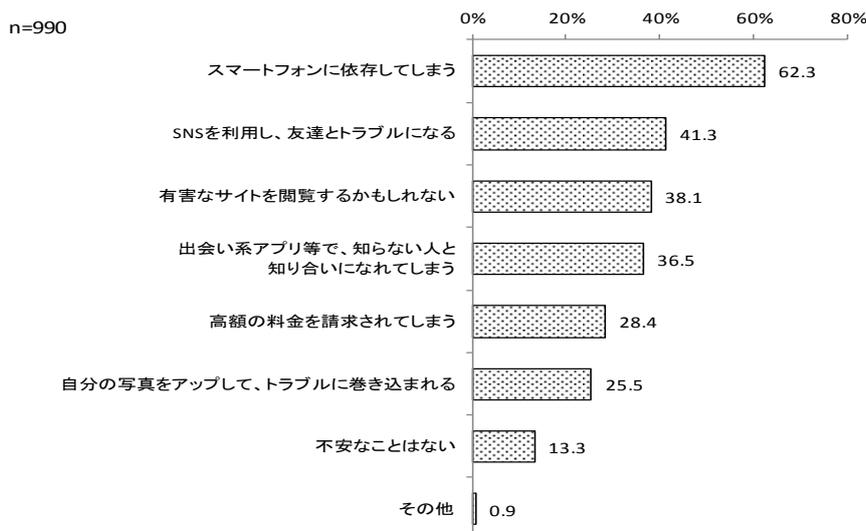


7 保護者の携帯電話・スマートフォン等に関する意識について

《スマートフォンを持たせるにあたり不安なこと》

- 「スマートフォンに依存してしまう」が62.3%と最も多く、次いで「SNS を利用し、友達とトラブルになる」が41.3%となっている。

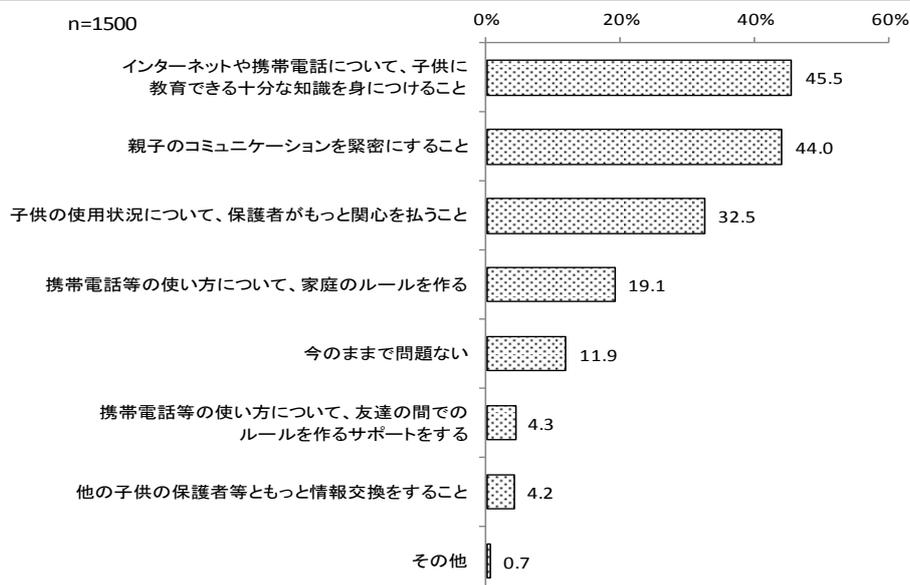
スマートフォンを持たせるにあたり不安なことはありますか。(いくつでも)



《保護者として必要な課題》

- 「インターネットや携帯電話について、子供に教育できる十分な知識を身につけること」が45.5%で最も高く、次いで、「親子のコミュニケーションを緊密にすること」が44.0%となっている。

携帯電話・スマートフォン、インターネットを、お子さんが正しく使用するために、保護者として必要な課題は何だと思えますか。(2つまで)



《東京都や学校で必要な対策》

- 「学校の授業等で、ネットの危険性について取り扱う」が31.3%で最も高く、次いで「インターネットの危険性について啓発する講演会・イベントの開催」が23.9%、「家庭のルール作りを推進する講座の開催」が20.5%と続く。

携帯電話・スマートフォン、インターネットを、お子さんが正しく使用するために、東京都や学校で必要な対策は何だと思えますか。(いくつでも)

